



お父さん、お母さんのための One Point 講座

No.6



『子どもの前ではけんかをしない』

文鮮明先生み言葉集『み旨にかなった子女指導』より

信仰を続けてきた皆さん、何年になりましたか？ 10年、20年、30年になっても先生について行きたいのですね。それはなぜですか？ そのような本心の道が、天理の正しい目的の道と現在私が行く道が、皆異なったものでないがゆえに、神様がそれを皆保護してくれるのです。脱線したら大変なことになります。そのように思ってこれからはけんかをしないで、模範的な家庭になって…。

サタン世界に誇れるものが祝福を受けた家庭です。先生から祝福を受けたことがいかに貴いかがよくわかりますか、わかりませんか？（わかります）わかりますか？（はい）そして、息子・娘たちが、「お父さんとお母さんが一生の間けんかをするのを見たことがなく育った」と言わなければなりません。先ほど、ここでお母様の話も出てきましたけれど、生活してみればあらゆる…。そうではないですか？ 小言も言わなければならないだろうし、うまくいかないこともあるでしょう？ だからといって、けんかをするのをしつこくやめないで、手を出して…。

そんな時は、話をしている子どもたちが入ってきたらピタリとやめなければなりません。元の状態に戻らなければならないのです。いくら夫に不満が残っても赤い顔をして息子に対するなというのです。これは先生の哲学です。だから、うちの子もたちはいつも平和で仲むつまじいお父さんとお母さんだと思うのです。お父さんの中で一番であり、お母さんの中で一番だと思うのです。だから、お父さんとお母さんは第二の神様です。「神様を取るか、お父さんとお母さんを取るか？」という時、お父さんとお母さんを取る言うのを神様も良く思われるというのです。それが貴いのです。教育の中で一番貴いのです。

（裏面に続く）

教育の中で一番貴いものはそれなのです。人の情緒的な面において…。お父さんとお母さんがけんかをして涙を流して、紛争を起こして、子どもたちが泣きじゃくって…。そんなことがあっても良いですか？ 何の話かわかりますか？（はい）子どもたちに対して恥ずかしいのです。

子どもたちは自分の第一の未来の神様です。未来の神様なのです。それを知らなければなりません。未来の神様です。そうではないですか？ 神様の理想を誰が？ 未来の後継者たちが相続していかなければなりません。未来の神様にならないといけないのです、未来の神様に。神様の対象の実体にならないければなりません。彼らは未来の神様です。それゆえに、子どもたちが師の中の師なのです。子どもたちは騙せません。騙せないのです。絶対に騙せません。すでに、お父さんとお母さんがウソをついていることを知っているのです、口に出さなくても。それゆえ、父母ももっと師の中の師にならないければなりません。父母は第二の神様の立場に立って師の中の師にならないければなりません。

彼らの情緒的な基準が、情緒的な方向がお父さんとお母さんを基準として全部準備されなければなりません。「私もあんなお父さんのような夫になり、あんなお母さんのような妻を迎えるだろう。万一、そうでなければ、育ててでもそのようにするだろう」というような教育をするのです。心情的教育はそこからしなければなりません。だから、けんかをする振る舞いは神様を追い出してしまうことであり、その次は夫を妻を追い出してしまう、父母を追い出してしまうことなのです。その次は子どもまで追い出してしまう振る舞いなのです。破綻が始まるというのです。

（1987年5月20日 本部教会で語られたみ言葉）



●本然の家庭を作ろう!!

☆天一国を具体的に建設する時を迎えて、私たちは真の御父母様から頂いた愛とみ言葉を持って、今まで成し得なかった本然の家庭を目指していかなければなりません。夫婦が一つとなり、親子が一つとなり、兄弟が一つとなることなくして、天の願われる二世、三世を育てることはできません。どんなに難しい問題があったとしても、御父母様が与えてくださった祝福です。夫婦が裁いて悪口を言い合えば、真の愛を欲している子女の心に傷を与えてしまいます。常に父母は真の愛の実体を示せるよう、仲むつまじい姿で子どもの前に過ごして行って下さい。

（世界平和統一家庭連合 岡山家庭教会 子女教育担当資料）